

鼻炎治療中の顔面症状とヘルペスを経て皮膚色が変化した成人アトピーの経過 (36 歳 男性)

症例 ID：001-30-OEi | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼少期から喘息発作があり、成人後はアレルギー性鼻炎で治療を受けていました。
顔に多数の発疹が出たことをきっかけに受診し、ヘルペス感染を伴うアトピーとして治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	鼻炎治療でステロイドを含む内服薬を使用しました。
製品名	セレスタミン。
強度	内服ステロイドを含みます。
使用期間	使用期間は不明です。
中止時期	受診時頃です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期	喘息	喘息発作がありました。
18 歳頃	喘息の変化	発作が出なくなりました。
成人期	鼻炎治療	アレルギー性鼻炎に対する内服治療を受けました。
受診時	顔面症状	顔に多数の発疹が出て、ヘルペス感染を伴っていました。
治療後	感染症の変化	ヘルペス症状は治まりました。
約 6 か月	経過中	顔の黒ずみが徐々に目立ちにくくなり、治療を継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、顔に多数の発疹とヘルペス感染がみられた受診時です。

5. 困りごと

- 顔面症状が目立ち、人目を避けたい気持ちがありました。
- 鼻炎、喘息、皮膚症状を併せて治療する必要がありました。

6. 経過のまとめ

ヘルペス症状は治まり、約 6 か月の治療中に顔の黒ずみも徐々に目立ちにくくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。